

奥武蔵野の紅葉を堪能しましょう！

天覧山～多峰主山

実施日 2013年11月17日(日)
 天候 晴れ
 リーダー 渋谷 京子
 参加者 友近洋子、佐藤金治、一柳昭、涌井良明、島本陳重、山崎富美恵、安田三恵子、小村井好枝、石附智江、渋谷賢寿、渋谷京子、中村友子、伊藤久雄、関塚七海、松丸恵美子、徳山敬子、小名秀鋭、白石佐恵 18計名
 費用 900円(池袋起算)
 タイム 飯能駅(10:05)能仁寺(10:35~10:45)天覧山(11:10~11:20)雨乞池(11:50~11:53)多峰主山(12:00~12:45)御嶽八幡神社(12:52)永田大杉BS(13:18)吾妻峡(13:23)中平河原(13:40~14:00)飯能河原(14:40)飯能駅(14:56)

先週はいきなり冬将軍がやって来た。だが当日は風もなく小春日和の秋晴れの一日となった。飯能駅から中央通りそして仲町の大通りを過ぎ観音寺の右の路地に入る。正面に見えてくるのが天覧山。奥武蔵自然公園の碑があり正面は能仁寺への道で、もみじの赤、イチョウの黄葉が目にも鮮やかに飛び込んでくる。



能仁寺は京都の古刹。戊辰の霧囲気があり、戊辰の戦争で炎上したものを昭和11年に再建した本堂と、少し風格がある。戻り左の登山道を進むとトイレの有る広場に到着。左に行く

と徳川綱吉の母、桂昌院が寄進したと云う十六羅漢像が安置されている。数えたら16では収まらず20像以上あった。アラ～？ 岩場をひと登りで天覧山の山頂に立つ。

標高は低いが、富高層ビル、奥多摩や丹沢の峰々も望める筈だが、残念！しかし眼下には飯能市街が広がりなかなかの展望であった。



山頂の裏手から松林の急坂を下ると湿地帯の水田跡に出る。右に行くと義経を追った常盤御前があまりの急坂(美しさ)に振り返ったと云う「見返り坂」の長い木段を息を切らしながら登る。天然記念物の「飯能笹」も繁るコナラ、クヌギの雑木林をいくとやがて道は二手に分かれる。左に進むと雨乞池があり、右へひと登りで3等三角点と経塚のある多峰主山に着く。山頂は広く多くのハイカーに混じり我々も昼食タイム。



多少の木々が有るもの、こちらも好展望が得られる。思い思いに堪能して集合写真に収まり下山開始。吾妻峡への道標に従い暫く歩くと御嶽八幡神社に至る。雑木林の中、岩の多いジグザグ道を下って行くと沢沿いになり鉄の鳥居を潜ると名栗街道は目の前である。

当初は左に飯能河原へ行く予定だったが、まだ陽も高く吾妻峡の紅葉狩りに誘われて渓谷沿いを歩くことにした。

名栗街道を右に行き永田大杉バス停を過ぎ標識に従い民家の路地を抜けると栗川に出る。丸いドレミファ橋を渡ると溪流は清く澄んでいて空に目を向けると柔らかい秋の陽射しを受けて黄葉が美しい。地元の人々に依ると夏は家族連れで川遊びやバーベキューで賑わうとの事。ならば我がこぶし会の「芋煮会」の候補地も有りかな・・・なんて思ったりして。途中の河原で、しばしティータイム。中平河原からトイレの有る車道に出る。



大沢橋、岩根橋を渡り飯能河原に辿り着く。広々としていて夏場は川面に手足を沈めて、さぞかし涼しいだろうな・・・と巡らせながら歩いた。車道に戻り銀座通りを経て飯能駅に到着した。

本日は天候にもメンバーにも恵まれ、まったり～ほっこり～の晩秋の楽しい山歩きとなりました。皆さん、有難うございました。



(記・渋谷 京子)
(写真提供・涌井 良明)